# 政策研究センター
# リサーチ・プロジェクト
# 成果報告書

**提出日:** 2016/2/29

| | 氏名 | 職名 | 所属 |
|---|---|---|---|
| **申請者(リーダー)** | 増山幹高 | 教授 | 政策研究科 |

**リサーチ・プロジェクト名:**

| | |
|---|---|
| (和文) | 国会アーカイブズ・プロジェクト |
| (英文) | The Diet Archives Project |

**期間:**

2015/4/1 から 2016/2/29 1年間

**研究組織:**

| | 氏名 | 職名 | 所属機関・部局名 | 摘要(変更等を記入) |
|---|---|---|---|---|
| リーダー | 増山幹高 | 教授 | 政策研究大学院大学・政策研究科 | |
| 分担者1 | 奈良岡聰智 | 教授 | 京都大学大学院法学研究科 | |
| 分担者2 | 村井良太 | 教授 | 駒澤大学法学部政治学科 | |

**リサーチ・プロジェクトの目的**

このプロジェクトでは，国会に関する歴史的史料の発掘，保存，整理，公開のあり方を問い直し，政策的な情報公開における文字情報への偏りを改め，写真，音声，映像といった史料の収集・整備に取り組むとともに，非文字情報のデータベース化や公開の方法を開発し，また，それらを従来の文字情報に応用することによって，文字情報のみに限定されることで捨象されてきた国会の時間的，空間的次元の再構築を試みる．

具体的には，申請者が代表を務める一連の共同研究に歴史軸を拡張するパイロット・プロジェクトとして，本プロジェクトは，国会に関わる写真，音声，映像といった史料の発掘，収集に着手し，そうした史料のデータベース化，公開方法を検証するとともに，従来の文字情報に限定された公開方法でなく，国会の史料に関する包括的，革新的な公開方法の開発・運用を試みる．

**研究成果の概要(800字以内):**

申請者は研究代表者として，科学研究費補助金基盤研究(S)平成22～26年度「政策情報公開の包括化・国際化・ユニバーサル化」を実施し，その後継共同研究として，科学研究費補助金基盤研究(S)平成27～31年度「政策情報のユニバーサル化・国際化に関する実証と実践」を遂行している．これらの共同研究の一つの目的として，国会事務局のインターネットで配信する審議映像の活用方法を革新的に改善することを目指しており，具体的には，事務局の配信する審議動画に最新の音声認識技術を応用することによって，発言単位で部分視聴できるようにするため，会議録と映像の同刻情報のデータベース化，会議録を検索することによって映像の該当部分を特定するプログラムの開発，特定された審議映像の部分再生を可能にするウェブ・インターフェースの運用などを行ってきている．

こうした技術・プログラムを活用し，本プロジェクトでは，ニュース報道やテレビ番組を音声認識し，その文字情報から帝国議会や国会に関する画像・映像を抽出することに取り組んだ．また，そうした試行的な抽出結果について，国会事務局や政治学者に情報提供し，参考意見を聴取してきている．プロジェクト1年目の段階において，学会報告・論文といった従来型の形式による研究成果をまとめるに至っていないが，別紙一覧に整理するようなメディアの音声認識，画像・映像抽出を終了している．

本プロジェクト申請時に併せて申請を準備した科研基盤研究(S)平成27～31年度が採択されているため，2年目の申請は行わず，科研基盤研究に吸収する形で研究を継続していくこととする．

**研究成果:**

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

**その他、研究成果として特記すべき事項:**

関連プロジェクト・サイト:
比較議会情報プロジェクト(http://www3.grips.ac.jp/~clip/)
動画の音声認識・テキスト検索を可能にするインタフェース:
国会審議映像検索システム(http://gclip1.grips.ac.jp/video/)

(適宜拡大)

# 研究成果一覧:

(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)

(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください

0 件　　うち、査読付き　0 件

| | 著者 | 標題 | 雑誌名<br>/所収図書の編者・図書名・出版者等 | 巻・号<br>/章・節 | 発行年 | 開始<br>ページ | 終了<br>ページ | 査読<br>(有=1) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | | | - | |
| 2 | | | | | | | - | |
| 3 | | | | | | | - | |
| 4 | | | | | | | - | |
| 5 | | | | | | | - | |
| 6 | | | | | | | - | |
| 7 | | | | | | | - | |
| 8 | | | | | | | - | |
| 9 | | | | | | | - | |
| 10 | | | | | | | - | |
| | | | | | | | - | |
| | | | | | | | - | |

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

0 件

| | 著者・編者 | 図書名 | 出版者 | 発行年 | 総ページ<br>数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | 1字 | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は、論文の区分で報告してください。査読なしの学会論文集は、学会発表の区分で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

0 件　　1字

| | 報告者等 | 論題 | 学会・研究会名等 | 報告年月日 | 開催場所 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | | | |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |